

2021年春セメスター FIRST プログラム

1. 科目概要と授業の特色について

FIRST (Freshman Intercultural Relations Study Trip) プログラムは1回生向けの海外学習入門プログラムで、2007年度より開始し、これまで韓国・台湾・香港・日本にて多くの学生が様々な体験をしてきました。

2021年度春は感染症拡大の影響のため、海外派遣を伴わない形式でプログラムを実施し、オンラインも活用したフィールド実習に取り組みます。指定された国・地域を対象としたアンケート調査などのリサーチ活動をキャンパス内もしくはオンラインにて行い、初歩的な調査法、グループ学修での学び方、異文化に対する感受性を養います。世界の言語、文化やその地域の人々との交流に興味を持ち、APUの国際的な学習環境やキャンパスライフを最大限に活用したいと考える学生に最適なプログラムです。到達目標は以下のとおりです。

- 1) APUで必要となるグループ学修の方法を身につける
- 2) APU在学中に多く接触する異文化状況に対し、自分なりの対応方法を考えることができるようになる
- 3) APU在学中に多く参加するであろう海外学修プログラムにおいて、学びの目標や自己成長の目標を立て、それを貫徹できるようになる
- 4) APUでの4年間の学びについて計画を立案し、それを実行するための手だてを考えることができる

2. プログラムの詳細について

2021年春セメスターのFIRSTプログラムは以下の内容で実施されます。

科目名	「異文化フィールドワークⅠ」(共通教養科目)
担当教員	近藤祐一 教授 / 立山博邦 准教授
実施形態	事前・事後講義および実習 ※全て対面型授業(オンライン参加不可)。 実習時の調査(インタビュー等)はキャンパスにてオンラインを活用します。
実習期間	2021年5月31日(月)~6月2日(水)
履修登録	2021年度春セメスター科目として登録(自動登録)
単 位	2単位 (2021年春セメスターの履修科目登録上限単位数に含みません)
成 績	「P(合格)」または「F(不合格)」
開講言語	日本語
人数	最大192名

3. プログラムへの申請と選考について

申請書類に不備がある場合は、選考対象となりませんので注意してください。

申請資格	申請時点において、次の要件を満たす学生。 ① 1-2セメスターの国内学生(言語基準を問わない)であること。 ② 申請時点に2セメスター生である者については、1セメスター修了時に14単位以上修得していること。 ※ただし、日本語基準または日本語中級を修了した、1-2セメスターの国際学生も申請可能です。
申請方法	オンライン申請フォーム https://survey2.apu.ac.jp/limesurvey/index.php/938859?lang=ja ※申請期間に合わせてアクセス可能となります。
申請期間	2021年4月1日(木)~4月21日(水) 16:30 締切



選考方法	志望理由を重視した審査により選考を行います。必要に応じて面接を行う場合があります。面接を無断で欠席した場合、参加意思が無いものと見なします。
合格発表	2021年4月30日（金）17：00以降に Campus Terminal の【あなた宛の重要なお知らせ】にて通知します。

4. プログラムに関わるスケジュール

授業/実習		予定日時	内容
事前授業	1・2	5月5日（水）5・6限	授業概要説明、グループ分け、学びの目標の設定、調査トピックブレインストーミング
	3・4	5月12日（水）5・6限	調査準備（調査手法について、質的研究と量的研究）
	5・6	5月19日（水）5・6限	調査準備（質問紙の作成について、インタビューの方法）
実習・授業7		5月31日（月）～6月2日（水）	実習：オンライン・フィールド実習、振り返りディスカッション※ 授業：中間発表と振り返り
事後授業	8-10	6月4日（金）	最終発表、最終振り返り、まとめ

※授業、実習ともに APU キャンパスにて対面型で実施予定です。教室は、合格者に通知します。

※グループについては、第1回事前授業で発表します。

※実習については、事前授業にて各グループが決めた調査テーマに基づきオンラインインタビュー等による調査を実施するものとします。

5. 免責事項・注意事項

1. プログラムの中止や内容の変更、参加の取り消し

- ① 天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・その他不可抗力に起因する事態が発生し、プログラム運営が困難になった場合、プログラムの中止や内容の変更を行う場合があります。
- ② 以下のいずれかに該当する場合、合格発表後であっても、参加者のプログラム参加が取り消されることがあります。なお、参加を取り消された場合、成績は原則として「F」評価となります。
 - A) 参加態度・出席状況などを勘案し、受講不相当と判断された場合
 - B) 選考結果発表後、懲戒処分の対象となった場合
 - C) 書類の提出を怠る、必要なガイダンスに参加しないなど大学の指示に従わない場合
 - D) 負傷・病気等でプログラム参加が適当でないと大学が判断した場合
 - E) 不正行為を行った場合
 - F) その他学生としての本分に反した場合

2. 選考結果発表後の辞退について

本学は皆さんがプログラム申請をした時点で受講の意思があるものとして選考を行います。従って、選考結果発表後の辞退は原則認められません。

申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することのないよう準備を行ってください。単位付与があるプログラムの場合、辞退した者の成績評価は原則として「F」評価となります。

3. 履修計画について

本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。選考結果発表後に問題が判明した場合および「1. プログラムの中止や内容の変更、参加の取り消し」に記載している事象が発生した場合も、特別な配慮等はしません。自己責任において、プログラムの応募を行ってください。本プログラムは実習期間と第1クォーター期末レポート提出期間が重複しますので、計画的に準備をしてください。

注意) 講義内容が同じプログラムに複数回参加することはできません。

今回 FIRST に参加する学生は次セメスター以降に実施される FIRST には海外派遣有無を問わず参加できませんので、その場合は SECOND などよりレベルアップしたプログラムに挑戦してみてください。

4. 個人情報の取扱いについて

申請書やその他提出書類に記載した個人情報(氏名、性別、生年月日、その他本プログラムに係り大学へ提供した情報)は、プログラム参加手続および本学が管理・運営に関する業務の目的のために、本学内で使用されることに同意いただきます。

5. プログラム参加にあたって

プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかりと決めてください。なお、事前/事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。

6. APU GLAD プログラム紹介

新入生向け多文化協働学修プログラムもありますので紹介します。興味のある学生は APU GLAD プログラムの募集要項をご確認ください。FIRST と APU GLAD は両方受講することが可能ですが、課題なども多いため、十分に計画をしたうえで応募してください。

APU GLAD (Global Learning for sustAinable Development) プログラムは、1-2 セメスター生(国内学生・国際学生)を対象とし、ゲストスピーカーを含めた講義やグループワークを通して、世界市民として世界の問題を理解し、さらに解決策を探求するプログラムです。

【FIRST/GLAD の特徴】

	FIRST プログラム (対面)	APU GLAD プログラム (ハイブリッド)
プログラムの目的	<ul style="list-style-type: none">・ APU で必要となるグループ学修の方法を身につける・ APU 在学中に多く接触する異文化状況に対し、自分なりの対応方法を考えることが出来るようになる・ APU 在学中に多く参加するであろう海外学修プログラムにおいて、学びの目標や自己成長の目標を立て、それを貫徹できるようになる・ APU での4年間の学びについて計画を立案し、それを実行するための手だてを考えることが出来る	<ul style="list-style-type: none">・ 世界市民として世界を見る枠組みを複数学ぶ・ 世界への貢献を現実化する手立てを学ぶ・ 大学キャンパスで、また海外学習でこれからのようなことを学ぶべきかを学ぶ・ オンライングループワークを通して日本語または英語による効果的なコミュニケーションスキルを学ぶ
実施時期	春第1クォーター、春クォーターブレイク	春第2クォーター
実施形式	授業、実習は対面形式。実習におけるインタビュー等はオンライン活用	ハイブリッド(対面+オンライン)形式 ※日本国内在住者は原則対面参加
お勧めしたい学生	<ul style="list-style-type: none">・ 多文化理解のための基礎能力を身につけたい・ 日本語話者以外とのコミュニケーションに挑戦したい	<ul style="list-style-type: none">・ 日英両言語での講義に挑戦したい・ SDGs を実現するためのプロジェクトデザインに挑戦したい
グループワークの形態	<ul style="list-style-type: none">・ おもに日本語基準学生・ 1グループ4名程度	<ul style="list-style-type: none">・ 原則、日本語基準学生と英語基準学生混合グループ・ 1グループ4名~6名
開講言語	・ 日本語	日本語および英語(グループワークは英語にて進むことが多いため、日本語基準学生の場合、英語準中級レベル以上を推奨)

問い合わせ先：アカデミック・オフィス前田・橋爪・麻生

Email: first@apu.ac.jp